

3 新規事業

(1) ヤングケアラーのサポート事業

ヤングケアラーとは (子ども家庭庁ホームページより抜粋)

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。

当協議会の理事・評議員を対象としたアンケートでもヤングケアラーへの支援に対して18%の方から回答が寄せられ、関心が高いことが伺えました。

さわやかサービスを活用した見守りサービス等を具体的に記載されている方もあり、今後必要なサービスを当事者等関係者からの意見を伺いながら必要なメニューを検討、実施していきます。

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どものことをいいます。



©一般社団法人日本ケアラー連盟 / Illustration: Izumi Shiga

(2) 品川社協のPR事業

アンケートに寄せられたご意見に、「地域の方が社協を知らない」との回答が寄せられ、社協の周知について取り組む必要性を感じました。品川社協の事業をPRする動画等を製作して、民生委員・児童委員の方への周知から取り組み、段階的に出前講座等を実施していきます。

(3) 地域、関係機関、企業等との連携

小地域のネットワーク化に向けて、地域にある企業との懇談会や、地域に関わる多様な主体とともに地域課題について話し合う地域ネットワークを構築していきます。

地域の困難な課題である「ひきこもり」「ゴミ屋敷」「セルフネグレクト」などへの取り組みについては当事者との関係を丁寧に構築しながら解決に向けていきます。福祉の困難な課題はほっとステーションだけでは解決できません。当事者をめぐる情報を含め、他機関との連携を強化していきます。

第四次 支え愛のほっと・コミュニティ 事業計画 [概要版]



品川区地域福祉活動計画 (2024年度～2029年度)

品川区地域福祉活動計画(支え愛のほっと・コミュニティ事業計画)は、品川区地域福祉計画(行政計画)をふまえながら、品川区社会福祉協議会(以下「品川社協」という)をはじめ、地域住民や地域活動団体、民間組織等が主体となって進める地域福祉活動のための計画を取りまとめたものです。

品川区と品川社協の2つの計画は互いに補完し、連携・協働して地域福祉を進めていく関係にあります。

また第四次地域福祉活動計画からは、品川区地域福祉計画の取り組み時期6年と併せることで、他の福祉関連の計画内容を反映しやすい形としました。

1 基本理念

2002(平成14)年に、品川社協が50周年を迎えたのを機に定めた基本理念「支え愛のほっと・コミュニティ」を引き続き基本理念として定めます。

支え愛のほっと・コミュニティ

だれもが、しながわで安心して暮らしてつづけられるように、地域福祉を支える人材を育み、多彩な「ふれあいサポート活動」を進め、支え愛のネットワークづくりを行うことにより、それぞれの人の個性を尊重した生活が実現できるようサポートしていきます。



基本目標

「支え愛」 区民相互の支え愛の輪を広げます

少子高齢化や都市化による時代の変化に併せて、助け合いの輪も変化していかなければなりません。私たちはこの助け合いの輪を「支え愛」と位置づけ、誰もが安心して生活できる地域をつくり出していくために、多くの人が支え合い、助け合いに参加できるよう時代に合わせた活動の輪を広げていきます。

「ほっと」 誰もが安心(ほっと)して暮らせる地域をつくります

誰もが安心(ほっと)して暮らせる地域となるよう、社協らしさを活かした事業を展開していきます。特に、福祉を取り巻く環境が大きく変化する中で、新しい福祉課題や制度の狭間(はざま)となっている課題等に対応していけるよう、事業を行っていきます。

「コミュニティ」 コミュニティを支える基盤を確立します

区民が身近な地域で、地域福祉に関わる活動に参加し、また、困り事の相談や支援を受けることが相互にできるように、地域に密着した福祉活動を展開し、地域のコミュニティを支えていきます。



社会福祉法人 品川区社会福祉協議会

東京都品川区大井1-14-1 大井1丁目共同ビル2F
TEL: 03-5718-7171 (代表) FAX: 03-5718-7170

